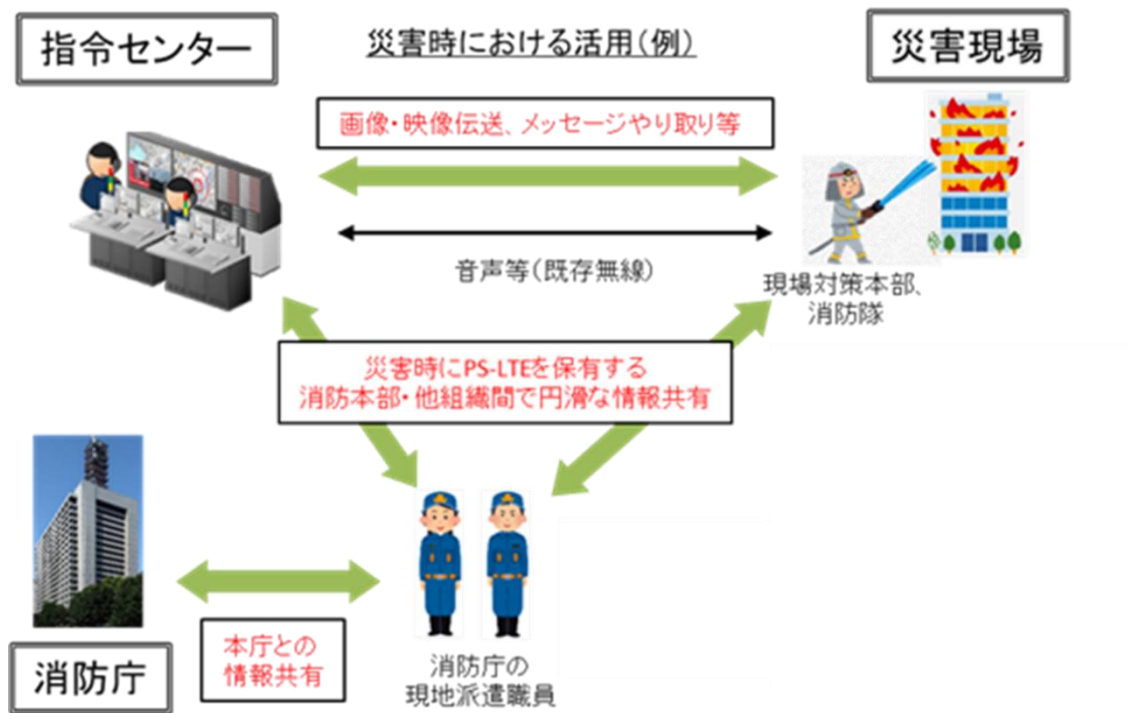


サイエンスアーツ×消防庁、Buddycom の大規模災害時における 現場活動等での有用性を検討・実証、消防における導入を推進

株式会社サイエンスアーツ（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：平岡 秀一、以下「サイエンスアーツ」）が提供するデスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」は、消防庁にて Buddycom の大規模災害時における現場活動等での有用性を検討・実証、消防における導入を推進していることをお知らせします。



消防庁での実証・検証におけるユースケース例

■ 検討・実証の背景

昨今、台風やゲリラ豪雨などといった異常気象に伴う河川氾濫、土砂災害等が毎年のように全国各地で発生し、大きな被害が発生している状況です。このような災害発生時に、各防災関係機関が、被災現場の画像や映像情報等を共有しながら連携して対応にあたる必要がある不可欠であり、今後、このような高度な電波利用ニーズが急増する見通しです。

Buddycom は 2023 年 10 月より総務省の公共安全モバイルシステムの実現に向けた実証試験における、実証用アプリケーションに採択され、防災関係機関における情報共有・業務連絡として活用[※]されておりましたが、2024 年 6 月より消防庁にて、消防本部における日常・災害時におけるユースケースの検討等、より具体的な活用に向けた検討・実証を行っており、消防における導入を推進しております。

※詳細はこちら：<https://www.tele.soumu.go.jp/j/others/psms/jirei/index.htm>

■ 検討・実証の内容

- ・災害時の音声通信に加え、画像・映像伝送やチャットなどの既存無線では行えない機能的な補完
- ・既存無線の不感地帯における代替手段としての検討
- ・災害対応以外の日常業務(予防査察、各種点検業務、雑踏警備)での活用

■ 今後の展望

サイエンスアーツでは、公共安全モバイルシステムと Buddycom を全国の消防本部間連携にてご活用いただくことで、緊急消防援助隊での活用、警察、自衛隊をはじめとする他の防災関係機関等の連携強化により、災害時に多くの人の人命に役立つ一助となることを目指し、各防災機関と連携しながら Buddycom の開発と運用支援を行ってまいります。

■ Buddycom とは (<https://www.buddycom.net/ja/index.html>)



デスクスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報(IoT)に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。

利用実績では、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種でのコミュニケーション手段として利用されています。

株式会社サイエンスアーツ について

サイエンスアーツは、「世界中の人々を美しくつなげる」をミッションとして掲げ、デスクスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」を提供しています。「Buddycom」は既に 1,000 社を超えるお客様の現場で活用されており、音声のみならず、テキスト、画像、動画、位置情報、AI などを活用することにより、あらゆる業種・業界のミッションクリティカルな現場において、新たなチームコミュニケーションを可能にするホリゾンタル×SaaS アプリケーションです。

◆ お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ

【所在地】 東京都渋谷区渋谷 1 丁目 2-5 MFPR 渋谷ビル 5F

【代表取締役社長】 平岡 秀一

【資本金】 5 千万円

【設立】 2003 年 9 月

【E-mail】 pr@science-arts.com

【Web サイト】 <https://www.buddycom.net/>